

## 門真市の公園に関する市民アンケート調査 実施概要

## 1. 実施概要

**実施目的：**市民の暮らしと公園利用の関係を把握し、公園再整備・再配置の基本的な考え方や公園の利活用に関する市民意識の把握を目的とする。

**実施時期：**5月中旬ごろ発送、6月中旬ごろ回収（第1回審議会後にすぐに実施）

**対象者：**16歳以上の市内在住者

※子ども対象アンケートは、「小学校低学年（2年）」「小学校高学年（5年）」「中学校（2年）」の3種類を実施する。

**実施方法：**無作為抽出による郵送

想定回収率：40%（600サンプル/1,500サンプル）

## 2. 郵送アンケート設問項目案

問	カテゴリー	設問項目
問1	回答者属性	年齢
問2		性別
問3		お住まい（※町丁目単位）
問4		居住年数
問5		同居人
問6	利用状況の把握	公園へ一緒に行く人
問7		公園の利用頻度
問8		公園を利用する時間帯
問9		公園の使い分け（良く行く公園は決まっている or 複数ある）
問10		良く利用する市内の公園名と利用目的、来園手段
問11		良く利用する市外の公園名とその理由
問12	代替施設の把握	公園以外でよく利用する施設等
問13	ニーズの把握	市内の公園でできればよいと思うこと（イメージ写真等）
問14		身近にある公園へのニーズ
問15		小さな公園はどのようにするのが望ましいか（機能分担、機能転換等）
問16		市内の比較的大きな公園へのニーズ
問17	公園管理上の課	ボール遊びについて
問18	題点	身近な公園で不安に思うこと
問19	自由記述	

### 3. 設問の意図について（主な事項）

#### 問1～問5

- ・回答者属性を把握する。
- ・地域別分析（6中学校区）、年齢層別分析（若年層、高齢者層等）、家族構成別分析（子どもの年齢層による傾向の違いなど）に向けたクロス集計を行うための基礎データとして把握。

#### 問6～11

- ・公園の利用状況について、同伴者、利用頻度、利用時間帯などの基本的な事項を把握。
- ・公園の使い分けについては、機能分担・特化（複数公園の使い分け）について、現状を把握する。
- ・よく利用する公園については、各地域の核となる公園を把握するとともに、その公園の利用目的などから、再整備等に向けて存続させる必要のある機能等を把握する。

#### 問12

- ・公園と、公園以外の公共施設等との連携による利活用の促進の可能性について把握する。  
（※例：児童福祉施設に隣接する公園は外遊びの場として活用、図書館など文化施設に隣接する公園で読み聞かせやワークショップの場として活用、等）
- ・公園の機能転換に向けた代替機能の確保の可能性について把握する。

#### 問13～16

- ・公園の利用ニーズについて、公園全般へのニーズを、具体イメージを用いて把握する。
- ・身近にある公園と比較的大きな公園、それぞれの役割について市民ニーズを確認する。  
特に、小さな公園の機能転換（廃止含む）についての意向や、弁天池公園のリニューアルに向けた公園利用イメージについての意見をうかがう。

#### 問17～18

- ・担当課への相談が多いなど、公園管理上の課題点の解決に向けた参考とする。
- ・ボール遊びについては、地域ルールづくりに向けた参考とする。
- ・不安に思うことについては、より安心して利用できる環境づくりに向けた参考とする。

## 公園に関する子ども向けアンケート調査 実施概要

### 1. 目的

公園の再整備・再配置と多様な利活用の推進に向けた「門真パークイノベーション」の取り組み展開に向けて、子ども達の普段の公園の利用状況や利用ニーズについて調査することを目的として実施する。

- 普段の利用状況について、よく行く公園やどのような遊びをしているのかを調査し、子ども達の遊び場としての公園の役割について把握する。
- 新たな遊びの場としての可能性について検討するため、これまで公園ではあまり見られなかったものも含めた公園の利活用に関するニーズを把握する。
- 以上のアンケート実施を通じて、「門真パークイノベーション」の取り組みを周知し、今後の市民参画の促進を図る。

### 2. 実施方法

門真市内全 14 小学校及び 6 中学校を対象とし、以下に示す区分ごとに 1 クラス程度を対象として実施する。

- 区分① 小学校低学年（2年生）
- 区分② 小学校高学年（5年生）
- 区分③ 中学生（2年生）

### 3. 設問案

各年齢層による利用状況や利用ニーズの違いについて比較・検討するため、各学年で設問の趣旨・内容は変えずに実施する。高学年・中学生のみ、自由記述式の質問を設ける。